

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
玉城 安雄	ふるさと納税の状況について	<p>町のふるさと納税については平成27年度で77件、約380万となっているが、このことに関して何点か質問します。</p> <p>1点目としてふるさと納税の活用について伺う。多くの自治体の中から久米島町を選んで納税してくれた方々の厚意を無駄にしないためにも収入の一つと捉えるのではなく活用してこそ意味があります。そこで活用方法についてどのように考えるか伺う。</p> <p>2点目としてふるさと納税では地元の特産品を送るなどしている自治体もあるが本町ではどのような対応を考えるか。</p> <p>3点目としてふるさと納税を増やしていくため今後どのようなことを検討しているか伺う。</p>	町長	<p>1. 募集パンフレットにも掲載しておりますが①ちゅら島づくり②ちゅら人づくり③島づくり全般の3つの柱で使途を掲げ、平成27年度までに3千2百20万円の寄付金があり、ちゅら人づくりの部門、島づくり全般で1千224万を支出しております。今後、寄付者の思いに沿うような活用方法を検討し、実施していきます。</p> <p>2. 久米島では現在、記念品の贈呈や取り組み内容の報告・広報くめじまの定期送付、会員証の交付や5年連続10万円以上寄付者を久米島に招待しています。平成27年度よりインターネットを活用して寄付できる「ふるさとチョイス」を活用し、金融機関やクレジットカードでも納税できる仕組みにしています。今後とも取り組みについて拡大できるか検討していきます。</p> <p>3. 各自治体では特産品を返礼する等で寄付が増加してきていますが反面、過剰な特産品発送や赤字に転じている自治体等もあり、国からの注意勧告文書もでています。久米島町として次年度以降に向けて年度内で関係課、事業所等と取り組み方について協議していきます。</p>
玉城 安雄	各補助金の支給方法について	<p>現在、各農家においては国、県、町の各種助成制度があり農薬、肥料、堆肥等が安定供給され経営的にも大いに助かっています。しかしながらこの助成制度は、一旦購入者が個人負担分も含め全額負担し支払っている状況であり大量に購入する農家においては一時負担が大きく経営にも支障をきたしかねない。その様なことから農家の安定的経営を図るためにも支給方法を見直すべきだと考えるが当局の見解を伺う。</p>	町長	<p>各種助成制度につきましては、公共料金・税金の滞納がある農家は対象にならないため、納税確認を行っております。そのため、一旦は農家が満額で購入し、その後購入者の納税確認をし、助成金を振り込む仕組みになっております。そのため、支給方法を見直すと滞納者へも助成することになりますので、支給方法の見直しは厳しいと思います。</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
玉城 安雄	一括交付金の活用について	<p>①一括交付金を活用し建設した、じんぶん館はモデル的な事業として県内外から注目されているが、更なる久米島高校の魅力化を図るため町として今後の取り組みを伺う。</p> <p>②今年度、水産関連の予算で水産加工施設が完成し久米島の水産業発展に寄与するものと思われる。しかしながら敷地内には利用できる更地があり、そこに特産品直売所、海産物料理等を提供できる施設を一括交付金を活用して建設し相乗効果を図ると共に、海洋深層水関連施設、久米島漁協（セリ、養殖場）、バーデハウス、はての浜、真謝集落の散策等といった観光ルートを造ることによって久米島観光にも寄与すると考えるが当局の見解を伺う。</p>	町長	<p>①これまで久米島高校の魅力化プロジェクトを進める中で平成25年度から支援員を配置し、県外からの島留学生受け入れに向けての体制づくり、平成27年度より久米島高校内に町営塾「久米島学習センター」開設、平成28年度には町営塾・寮を併設した「じんぶん館」を開設、運営を進め、基盤固めができました。今後とも引き続き、取り組みの強化・充実を図っていきます。</p> <p>②特産品直売所及び海産物料理等の提供について。 完成した水産物加工施設には、海産物特産品直売所及び海産物料理を提供する施設も併設されております。順次提供出来るよう対応するとの事です。 現在、観光プログラム等において、海洋深層水関連施設など中心とした産業観光をはじめバーデハウス及び久米島紬ゆいまー館における体験型コース、島人と歩く真謝集落散策のふれあい観光を実施しております。さらに施設の充実に伴い修学旅行生を対象に、魚のさばき方の体験やその魚を料理し、食する体験学習なども行います。</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
吉永 浩	農家が夢を持って農業に取り組む挑戦できる島づくりのため、そして農家の所得向上を図る観点から「久米島かんしょ加工施設」について2点質問する。	<p>①久米島町かんしょ加工施設への出荷は、農家個人ではなく、出荷団体を通して出荷することになると聞いている。島内で加工施設が出来ることで、町民が「芋」を作ってみようと意気込む声や、若い世代からも声があがっている事から、町民からの期待がわかる。しかし、現時点でのハードルの高い出荷方法では、やる気を損うと考える。</p> <p>農家、そしてこれから農業をやっていこうとする町民の生活も豊かにするという観点から、そして補助金を活用した事業という性格から、できるかぎり出荷の入り口を広くし、多くの個人農家からも出荷できる体制にする事が、必要と考えるが、町長の見解を伺う。</p> <p>②久米島町かんしょ加工施設が出来ることで、出荷先の確保、そしてこれまでは、90g以下で出荷できなかった「芋」も出荷可能になるということで、農家としては安心して生産拡大を図ることができるようになると思う。一方生産拡大とともに、重要な視点として「反収」の向上があげられる。島内に加工施設ができ、島内で直接出荷のやりとりができるようになるのであれば、これまでよりも輸送費等出荷に伴うコストが安くなる事で、芋農家の所得向上につながるはずであり、農家の期待もそこにあると考える。もちろん増産意欲にもつながる。</p> <p>農家の生活を豊かにすることを目指し、補助金を活用した事業であるならば、今までよりも、農家の芋出荷価格があがる方向で、設定すべきと考えるが、町長の見解を伺う。</p>	町長	<p>①かんしょ加工施設への出荷について。久米島町かんしょ加工施設での原料使用は、全生産量の4割程度（27年度生産量1,032t）であり、島外との出荷と併せて調整しながら行わなければならない。また、運営会社から原料の割り振りや品質管理を約100戸の農家を対象に直接・個別に行うよりは、出荷団体を通して行ったほうが容易にまた、確実に原料の確保ができる。</p> <p>②農家の出荷価格について。出荷価格は、農家手取りで多少増える方向で調整中です。</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
吉永 浩	誰もが安心して暮らせる町づくりとして、今後ゴミ出しが困難な世帯に対し、ゴミ出し支援の体制を構築する必要があると考える。そこで2点質問する。	<p>①那覇市が先進的に実施している生活支援サービス、「ゴミ出しアシスト収集」事業がある。今後の社会環境を考えると、島にこそこういった事業が必要と考えるが、町長の見解を伺う。</p> <p>②高齢者や障がい者、母子世帯等が安心して暮らすためには、日常の生活支援体制の充実が必要である。通常ゴミ出し支援、大型の粗大ゴミの収集支援、一時多量ゴミの収集支援体制の構築に向けて検討していく必要があると考える。町長の見解を伺う。</p>	町長	<p>那覇市の「ゴミ出しアシスト収集」は、那覇市社会福祉協議会の情報により指定の場所へのゴミ出しが困難な高齢者や障害者等支援の必要がある世帯を支援しています。</p> <p>久米島町では、ゴミ収集については久米島清掃組合に委託をしており、ゴミ出しが困難な高齢者、障害者等のゴミ出しの支援については、福祉課、環境保全課、久米島町社会福祉協議会、久米島清掃組合の4者での話し合いのもと、福祉課及び久米島町社会福祉協議会の要請により同組合が粗大ゴミの収集支援、一時多量ゴミの収集支援を行っており今後も継続して実施します。</p> <p>通常ゴミ出し支援については、ゴミ出しの指定の場所を行わずに自宅前の道路等へのゴミ出しになっていますので今後も各自においてのゴミ出しをお願いしたいと思います。</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
吉永 浩	地域の生活道路の舗装、側溝、排水路の補修、改修の要望が、各字からあがると思う。そこで2点質問する。	<p>①平成27年度、区長や議員から、何件の要望があがったのか。そして、その各案件に関して要望者に経過報告しているのか町長へ問う。</p> <p>②今後、安心安全な生活環境整備のため、地域からの要望等をリストアップして、進捗状況を報告していくことが必要と考えるが、実施する考えはあるか。町長の見解を伺う。</p>	町長	<p>①平成27年度、区長や議員から、何件の要望があがったのか。そして、案件に関して要望者に経過報告しているのかについて、平成27年度において要望があつた件数は46件です。この件数は、区長及び議員だけの要望だけではなく、特に個人からの要望が多い件数となっています。台風時や職員が見回り中に発見した危険箇所を即対応した現場については、集計には入っていません。また、要望者に経過報告しているかについては、修繕工事完了後に現場確認で対応しています。</p> <p>②今後、安心安全な生活環境整備のため、地域からの要望等をリストアップして、進捗状況を報告していくことを実施する考えはあるかについて、この件に関しては、平成25年度において「農業基盤促進整備事業概略設計委託業務」を発注し、全区長及び両土地改良区から要望箇所を集約しています。最も要望が多いのが、農道・集落内道路の整備です。整備要望延長が約8万4千m、概算で約67億円となることから、町予算での対応は厳しく補助事業に頼ることになり、緊急度の高い路線及び未舗装の路線を優先に採択に向け県に要望しています。国・県の採択基準が厳しいことから、全要望箇所の進捗状況を報告するのは厳しいものと思います。</p>
仲村 昌慧	元県知事大田昌秀氏の銅像建立について	元県知事大田昌秀氏の銅像建立については、去年の3月議会で同僚議員が質問しているが、町長の答弁として「このような事例については、期成会・記念事業等で特別に取り組むべきと思っている。他市町村の状況や規程等の整備を含め情報収集したい。早い内に本人と協議して、取り組みについても前向きに進めたい。」と述べているが、その後の進捗状況を伺う。	町長	大田昌秀氏の銅像建立については、昨年3月の一般質問を受け、同年5月に大田昌秀氏ご本人と協議を行いました。ご自身の銅像建立については積極的なご意見はいただけませんでした。銅像建立は必要であると考えますが、他市町村においても本人存命中の期成事業等の実施例は少ないため、大田氏ご存命中の期成事業の実施は時期尚早と考えております。名誉町民制度の設立や、大田文庫の設立等、大田先生の意志を尊重した事業の推進を検討して行きたいと考えています。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
仲村 昌慧	フットライトの設置について	平成24年12月議会でフットライトの設置について質問したが、前町長は、「早朝や夕刻から宵闇にかけてのウォーカーが大幅に増えている。そうした中で安全で安心してウォーキングが出来る環境の整備は是非とも必要だと感じている。整備方法については検討したい。」と答えている。大田町長はフットライトの設置についてはどのように考えているか伺う。	町長	フットライトの設置について、現在実施している各部落のLED防犯灯設置事業において維持管理費が削減されることが実証済みなので、今後、LED事業実績を踏まえ設置可能かどうか、また、その場合予算及び地区設定や県道歩道等の占用が可能かどうか協議し調査する必要があるので事業化できるか検討したいと思います。
平良 弘光	県道の整備について	県道89号線比屋定展望台～比屋定集落までの路面の一部の凹凸がある又歩道が設置されていない箇所がある。県の県道整備計画の中に入っているか伺う。	町長	県道整備計画について、南部土木事務所に確認したところ車道の凸凹の補修については予算が限られているため全県的に年次計画で実施しているが、比屋定展望台～比屋定集落まで路面補修の計画はなく、現場を踏査して検討して行くと報告を受けました。また、歩道が設置されていない箇所があり県道の整備計画はあるか、問い合わせたところ、現在のところ整備計画はありませんと報告を受けています。
平良 弘光	観光地開発について	タチジャミ公園の整備について、過去に地域懇談会や議会の一般質問でも追加整備の要望があったが県指定の自然公園に指定されているため、厳しいと話があるが、久米島町が計画を立案し県に要望すれば、必要に応じてその一部を解除することができるか伺う。	町長	タチジャミ公園は、沖縄県自然保護課の施設で久米島町が委託管理を行っています。追加整備については、県自然保課に整備計画の要請が必要となります。久米島町が計画立案し事業計画を実施する場合には、当地域は第2種特別地域になっており自然公園内における開発行為の許可が必要です。第2種特別地域は、建築物、工作物、本竹の伐採等の規制はありますが許可は可能だと思います。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
平良 弘光	旧比屋定幼稚園の施設活用について	施設について、活用する計画があるか伺う。	教育長	旧比屋定幼稚園施設の活用についてですが、当初「ICT利活用による離島学力向上支援実証事業」で実施する、現役東大生によるインターネット授業の開催予定施設として県の担当者とも調整が済んでおりました。ところが、5月に県の担当者が旧比屋定幼稚園を視察した際、1施設に2教室分のスペースを確保することは難しいとの判断により、開催施設として利用することが出来なくなったために、現在は旧比屋定幼稚園施設の活用計画はございません。今後は学校、地域の要望等を踏まえて、施設の効果的な活用を検討して参ります。
赤嶺 秀徳	県道89号線儀間嘉手苅地内横断歩道の改良について	この件について、私は、3月と6月の定例会に於いても質問しました。6月の答弁では那覇署と協議中であり、那覇署の方から南部土木事務所に対して5箇所の歩道切り下げについて要請するとの事でありました。1点伺います。 ①改良工事は何時頃から予定しているか。その進捗状況について伺いたい。	町長	県道89号線儀間嘉手苅地内横断歩道の改良について、改良工事は何時頃から予定しているかについて、県道を管理する南部土木事務所と調整した結果、那覇署長から南部土木事務所長あて歩道切り下げ対応の依頼文書は届いていて、今後那覇署と協議を開始することになっています。改良工事の開始時期については、協議の結果を踏まえ実施に向け検討することになりますが、今年度での実施は予算が確保されていないことから厳しい状況であると報告がありました。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
赤嶺 秀徳	平成29年度予算について	<p>国はこれまで、沖縄関係予算について沖縄振興策と基地問題はリンクしないと常々言って来ました。しかし、今回の内閣改造で菅長官や沖縄担当大臣から厳しい言葉が発せられました。</p> <p>県の平成29年度予算がマイナスシーリングとなり、一括交付金等も減額された場合、航空運賃等、離島割り引きの制度にも影響が出て来ると思うが、その場合、町行政としてどのような対策を講じるか伺いたい。</p>	町長	<p>去る8月26日のマスコミ報道によりますと内閣府は2016年度沖縄関係予算の概算要求額は対前年度比で140億円（4.2%）減の3210億円を要求する記事が掲載されました。特に沖縄振興一括交付金の275億円の減額が影響しています。今後は復活折衝の段階に進むと思いますので進捗状況を見ながら今後の対応策を協議します。</p> <p>万一、一括交付金が減額され運賃に影響が出る場合は、他離島とも連携を図りながら交通コスト負担軽減事業及び球美の島交流促進事業の維持、確保について県に要請して参ります。</p>
赤嶺 秀徳	儀間川の水質汚濁について	<p>これまでに儀間川の水質や沈殿土壌等の採取による鑑定分析等の検査を実施した事はあるか伺いたい。</p>	町長	<p>儀間川の水質や沈殿土壌等の採取による鑑定分析等の検査を実施した事はあるかについて、2級河川である儀間川は県管理となっているため、県河川課に問い合わせたところ、儀間ダム建設工事に伴う「事後調査」で儀間ダム工事区域直下と山田橋付近の2地点にて濃度・濁度の水質調査を、平成25年度と平成26年度に於いて、平常時と降雨時で実施したと報告を受けています。</p>
棚原 哲也	小中高及び幼稚園、保育所等施設の耐震化について	<p>現在、全国で子どもの学びの場及び災害時の避難所として利用される学校施設の耐震化がすすめられているが</p> <p>①久米島町内の学校施設の耐震度検査は行われたのか</p> <p>②検査を受け各施設は耐震基準をクリアしているか</p> <p>③耐震基準をクリアしていない施設の今後の取り組み計画はどのようになっているか</p> <p>伺いたい。</p>	教育長 町長	<p>昭和56年以前に建築された小学校4校、幼稚園1園の施設については平成18年度に耐震診断を実施し、耐震基準は満たしていないという結果がでております。耐震基準を満たしていない施設については、学校施設整備事業長期計画に基づいて耐震化していく予定です。</p> <p>保育所については、義務化対象外となっております。</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
棚原 哲也	クルーズ船の寄港誘致及び受け入れ対策について	今年4月ににっぽん丸が本町に初寄港したが、約300名の乗客が来島し島の商工観光産業に貢献したと思われませんが、今後大型クルーズ船の寄港や寄港回数の増加をクルーズ船の運航各社に働きかける必要があると思うが今後の取り組み方針はどのようになっているか。又、受け入れに際し乗船客が安全に乗降できるよう受け入れに関する施設等の整備計画があるのか伺いたい。	町長	<p>沖縄へのクルーズ船の寄港は、平成28年は429回の予定となっており、うち台湾、中国、香港、欧米など外国から寄港する大型クルーズ船が殆どであります。こうした大型船は現在の兼城港への寄港は困難なことから、去る4月9日に寄港した通船による上陸を行う「にっぽん丸」の継続寄港の要請と、同様の通船による上陸観光を行うクルーズ船についても沖縄離島クルーズの可能性があれば誘致を図って参ります。</p> <p>受け入れに際し乗船客が安全に乗降できるよう受け入れに関する施設等の整備計画について、今年度県費で兼城港ターミナルの概略設計を発注する予定となっています。又、8月23日に実施された「県土木建築部と南部市町村との行政懇談会」において、兼城港に浮き桟橋の設置を要望しています。</p>
棚原 哲也	旧仲里農村環境改善センター跡地の利活用について	旧仲里農村環境改善センター跡地の一部は比嘉公民館用地として活用されると聞くが、残地について現在にところ活用計画があるのか伺いたい。	町長	今年の3月議会でも答弁したとおり、仲里改善センター跡地の具体的な整備計画は現在ありませんが、災害時の集合場所や公園など地域住民が自由に利用できる公共用地として活用することを念頭に、地域住民と活用及び管理について今後話し合っていく予定です。
饒平名 智弘	スハラ2号ため池について	スハラ2号ため池は、漏水をし干ばつした場合に、散水できなくなる為、早急に改修工事はないか。	町長	スハラ2号調整池に関して調査したところ、昭和60年～平成7年度に掛けて県営かんがい排水事業で実施完成しました。その後、漏水が確認されたことにより再調査し、調整池の補修工事が必要となり平成17年度～21年度で団体営基幹水利施設補修事業により再整備されています。現在、満水状態にならず漏水の可能性のある事を南部農林土木事務所に報告し、今年度県営事業で発注予定している「ストックマネジメント事業」によりスハラ地区も調査区域の対象とする事で協議中であります。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
崎村 正明	グリーンビュー阿里について	グリーンビュー阿里の分譲地販売状況及び維持管理は、現在どのようになっているか伺いたい。	町長	グリーンビュー阿里の分譲地は、全115区画中79区画、68%が販売済みとなっており、37区画32%が未売となっています。現在2件の問い合わせがありますが、平成26年度以降の販売実績はありません。 未売区画の維持管理については、年2～3回の除草作業を行っております。
盛本 實	公共工事が地域経済に及ぼす影響について	「公共工事」とは、一般的に、道路や橋梁、空港、港湾などの社会資本整備を行うことを目的としているが他方、公共工事が地域に及ぼす経済効果は計り知れないものがあると思います。そこで質問ですが ①公共工事が地域経済に及ぼす影響について町長はどの様に捉えているのか。 ②過去10年間の公共工事の推移について ③今後の公共工事の中長期計画は策定されているか ④工事の平準化発注について 以上の4点について伺います。	町長	①公共事業が地域経済に及ぼす影響について、公共事業によって建設された社会資本が産業活動や町民生活に影響し、生産能力や生活レベルの向上をもたらす効果及び公共事業による事業支出そのものが投入資材の需要増加をもたらし、それが呼び水となって民間部門の支出を促すことによって町の総生産を増大させる効果があると考えています。そのことも踏まえ、今後も公共事業採択に向け推進していく考えであります。 ②普通建設事業費は、町予算全体の約20%を占めており、歳出予算の増大にあわせ、過去10年間の公共工事は増加傾向にあります。 ③今後の公共事業の中長期計画の策定はしていません、10年間の工事の事業計画を公表することは現実的に厳しいと思いますが今年、策定された総合計画との関連で各課の事業計画のとりまとめを行い、3年間の実施計画を策定しますので主要事業については公表していこうと考えています。 ④工事の平準化発注については、従来より課題となっています。平成27年度において「儀間漁港第2防波堤整備工事」を大規模工事において複数年度にまたがる工期の設定が可能な債務負担行為を活用し、発注したところであります。今後とも、他の事業も同様に平準化に向けた制度としての早期着工や国庫債務負担行為を活用しながら、計画的・効率的な公共事業予算の執行及び工事施工の一層の平準化に努めていきます。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
盛本 實	土地改良整備地区外の農道整備について	現状においては土地改良整備地区外について補助事業での整備は難しいとの事であるが、他の方法による整備が出来ないか伺います。	町長	土地改良整備地区外の農道整備について、他の方法による整備ができないかについて、農道整備事業には「農業基盤整備促進事業」の「補助事業」と「交付金事業」の2種類有あります。現在、土地改良区域内は農道として用地が確保されていて法手続きが必要ないため「交付金事業」で実施しています。他の方法による農道整備となると「補助事業」による農道整備事業メニューがあります。採択要件として、延長が200m以上、1キロ以内で経済効果及び同意等の法手続きが必要となることから採択には厳しい条件であります。しかしながら、地域から農道整備箇所の要望が多いことから、今後、整備に向け検討して行きたいと思ます。
盛本 實	謝名堂川の整備について	謝名堂川の整備については、河川等級が2級河川であるため管理者は沖縄県であり整備についても沖縄県が実施すると思うが、町長は整備内容及び進捗状況について知る必要があると思ます。そこで質問ですが、 ①同河川の整備について町との調整はあるのか ②事業の工期について ③河川断面については多自然型工法を取り入れているのか ④親水性断面になっているのか 以上の4点について伺います。	町長	謝名堂川整備についてお答え致します。謝名堂川は2級河川で事業主体は県となっているため、南部土木事務所に問い合わせた結果、 ①河川の整備について町との調整はあるかについて、町道と河川の管理用通路相互利用、橋梁や排水路等の河川における工作物等について調整を予定しています。又、その他必要に応じ調整を実施する考えである。 ②事業工期については、平成26年度から平成35年度を予定しています。 ③河川断面については多自然型工法を取り入れているか ④親水性断面になっているか。については、同じ回答となっているのであわせて回答致します。現在、県単費により謝名堂川予備設計を8月末に発注予定しています。その中で検討して行く予定であると報告を受けています。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
盛本 實	パークゴルフ場の管理について	久米島シーサイドパークゴルフ場は規模、グレードともに沖縄県内でもトップクラスであると世間の好評を博しており、県内外から多くの方がプレーを楽しむために来島しており、久米島観光の一翼をも担っている。今後ともハイグレードのゴルフ場を維持していく為にも管理人の安定雇用を含め管理技術の向上を図る上からも幾つかの改善すべき点があると思うが、その対策を考えているか伺う。	町長	<p>久米島シーサイドパークゴルフ場は、オープン以来多くの町民、島外のお客さん等に利用されており、今後も久米島観光の一翼を担って行くものと思います。そのためにも規模、ハイグレードなゴルフ場を維持管理して行く必要があると考えています。</p> <p>今後の施設の整備として同パークゴルフ場の駐車場に休憩施設、旧久米島中学校グラウンド跡地に9ホールのパークゴルフ場の整備を進めており、完成しますとお客様により良い施設の提供ができるものと思っております。</p> <p>更に9ホールが出来ることによって1コースを閉鎖してグリーン、フェアウェイ、ラフ等の芝の養生を行うことにより芝の生育管理が可能になります。</p> <p>管理技術の向上を図るために管理人による県内外のパークゴルフ場視察を検討したいと思います。また、民間への指定管理を行うことで管理人の安定雇用、管理技術の向上ができるものと考えていますので、今後、民間への指定管理を検討して行きたいと思っております。</p>